



News Release

バイエル薬品株式会社
広報本部
〒530-0001
大阪市北区梅田 2-4-9
TEL 06-6133-7333
www.bayer.co.jp/byl

甲状腺がん患者さんの意識調査より

甲状腺がんについて正しい理解を求める声

- 予後が良いことが多く、それゆえ長くつきあうことになる甲状腺がん
- 甲状腺とその機能を含め、病気に対する周囲の理解促進が適切な患者サポートにつながる
- 早期は自覚症状に乏しいため、積極的な健康診断や検査を勧める患者さんも

大阪、2014年11月5日 — バイエル薬品株式会社(本社:大阪市、代表取締役社長:カーステン・ブルン)は、2014年10月、全国の甲状腺がん患者さんを対象とした意識調査を実施し、565名より回答が得られました。

意識調査の結果、患者さんは甲状腺がんを比較的予後が良く、進行が遅いことが多い病気と認識している一方で、「がん」という病名のもつイメージによって、自身も悩んだ経験や、周囲に必要以上に心配をかけることや動揺させることを懸念した経験があることがわかりました。また、甲状腺という臓器やその機能を含め、甲状腺がんについて周囲に理解されていないことによる戸惑いも経験しています。

甲状腺は、首の前側、のど仏のすぐ下に位置する臓器で、その機能は甲状腺ホルモンを産出して、代謝、心血管機能および恒常性*をコントロールすることです。甲状腺がんでは、外科的治療後も甲状腺ホルモン剤を服用する場合があるなど、甲状腺機能への影響と一生つきあわなければなりません。今回の調査においても、定期的な通院・検査、服薬に対する心理的な負担や、ホルモンバランスがくずれることによるさや疲れやすさが続くことと訴える声が聞かれました。また、喉元の手術の痕や、声への影響など、甲状腺がん特有の悩みをもつ患者さんも少なくないことがわかりました。

*恒常性とは、ヒトの体が内部や外部の環境因子の変化にかかわらず一定の状態に保たれること

予後が良好、すなわち長くつきあうことになる甲状腺がん。再発の不安を長期的に抱え続けるなど、患者さんの心理的な負担が続くことから、周囲の十分な理解が必要です。調査から得られた患者さんの声から

は、疾患について伝えることで周囲から適切なサポートが得られるとともに、周囲の方の検診意向も高まったという体験が聞かれ、この病気について理解を促進することの重要性が示唆されました。

主な調査結果は次のとおりです。

◆自覚症状少なく、偶然の発覚が70%近く

[別添資料:3 ページ、15 ページ参照]

甲状腺がん発見のきっかけは、「人間ドックや健康診断で、たまたまその疑いが発覚したり」(36.3%)、「他の疾患で受診していた医師から指摘された」(29.7%)といった、偶然見つかったケースが66.0%でした。「何らかの自覚症状があった」人は21.1%のみで、その症状は主には“喉・首・リンパの腫れ・しこり・ふくらみ・違和感”でしたが、他にも“だるさや疲れやすさ”“咳が続く、声がかれる”“手指の震え”“多汗”“皮膚の乾燥”などがありました。甲状腺がんの特徴として、「更年期と勘違いしやすい」ことを挙げる患者さんも見られました。

◆診断後、親や配偶者には詳細を伝えた人が多数。一方、職場では工作上必要な情報を伝えるに留まる

[別添資料:4～6 ページ参照]

甲状腺がんの診断を受けたことについて誰に伝えたかを聞いたところ、配偶者や親と一緒に診断を聞いたケースも多く、家族や友人に伝えた人は半数以上にのぼりました(配偶者95.1%、親73.1%、子71.0%、その他の家族55.9%、友人60.4%)。特に配偶者や親には、診断されたこと以外にも「治療法」(配偶者75.4%、親68.4%)、「甲状腺がんの基本情報」(配偶者56.5%、親47.7%)や「予後」(配偶者51.1%、親41.1%)、「自分の気持ち」(配偶者30.4%、親21.1%)など、より多くの情報を伝えています。これに対し、上司や同僚に伝えていることは「治療に必要な(仕事を休む必要がある)日数」(上司81.3%、同僚60.9%)が中心で、「甲状腺がんの基本情報」(上司20.0%、同僚25.4%)、「予後」(上司28.1%、同僚19.6%)や「自分の気持ち」(上司9.4%、同僚13.0%)について伝えた割合は低いことがわかりました。

◆周囲の心配を懸念して診断について伝えるべきか悩む例もあるものの、伝えることで適切なサポートが得られたという声。自身の経験をもとに、周囲に啓発したいという意向も

[別添 資料:7～13 ページ参照]

診断を受けたことについて伝えることを事前に悩んだがどうかを対象別に聞いたところ、配偶者や上司、子には、「一緒に住んでいるので」、「仕事を休む」ため、「協力は不可欠」だからなど、必要性からほとんどの人が悩まず伝えていることがわかりました(「事前に悩んだ」割合が配偶者4.4%、上司5.0%、子9.1%)。一方、友人(24.2%)、親(16.8%)、同僚(15.2%)には伝えることを「事前に悩んだ」人の割合が増加し、悩

んだ理由としては、「心配をかける」「本人よりも動揺」させてしまうなど「がん」という病名により、必要以上に心配をかけるのではという懸念が主に挙げられました。しかし、友人、親、同僚に「伝えるかどうか事前に悩んだ」けれども「伝えてよかった」とする患者さんからは、「勇気づけてくれた」「仕事にもどって来やすい環境を作ってくれていた」という声が上がっており、伝えることによって精神的な支えや協力が得られる面があることがわかりました。

また、兄弟姉妹（「配偶者・親・子以外の家族」）や友人、同僚には、「人間ドックを受けて健康管理する必要性を伝えたかった」「この病気の知識を持ってもらいたかった」などの理由から伝えたという患者さんも見られ、甲状腺がんについて自身も正しく理解していなかったがゆえに周囲に啓発したいという患者さんの意向が表れています。「その後検査をして甲状腺の異状が見つかった友人もいた」という例もあり、啓発の観点からも伝えることの意義が浮き彫りになりました。

◆甲状腺がんは予後が良いと認識。しかし、その現実と「がん」という病名がもつイメージとの乖離に悩むことも。さらに、甲状腺がん特有の患者負担も目立つ

[別添資料:14~15 ページ参照]

患者さんの多くは甲状腺がんの特徴について、“予後が良い”“進行が遅い”ケースが多いことを認識していることがわかりました。しかしながら、発覚時の自身の疾患認知の低さから、『「がん」という病名に全く心が対処できなくなった』などと、精神的に大きな負担を感じる患者さんは少なくありませんでした。さらに、周囲には「大げさに伝わりすぎて困る」、会社からは「がん」ということで「第一線で元気に働けないとみなされる部分がある」と悩む声が上がりました。

さらに、「甲状腺ホルモン剤の服用が必要」、「いつもだるくて疲れやすく眠い」といった“甲状腺ホルモンを分泌する甲状腺の病気”であるがゆえの特徴や、「通院を一生しなければならない」、手術の痕を「気にする」、「声が出にくい」といった甲状腺がんによく見られる負担が患者さんを悩ませていることがうかがえました。これに対し、「甲状腺の事を知らない人が多く、周囲に病気を理解してもらえない」「怠けている、甘えていると思われがち」と、こうした甲状腺がん特有の患者負担への理解が得られにくい状況であることがわかりました。

◆患者さんは具体的な疾患情報が不足していると認識。特に患者さん同士の情報交換の場が求められる

[別添資料:16~17 ページ参照]

57.8%の人が、甲状腺がんに関する情報が「不足している」「どちらかというと不足している」と回答。さらに、甲状腺がん患者さんの体験談や生の声が「不足している」「どちらかというと不足している」と回答した人は74.1%と、特に高い傾向が見られました。他の患者さんから聞いてみたいと思う、甲状腺がんに関する情報は、上位1位~3位が「定期検査」(23.2%)、「手術の経験・手術後の痕」(22.5%)、「日常生活で注意

していること」(22.1%)といった具体的な体験に基づく情報であり、4位、5位が同率で「診断から今までの体調・気持ちの変化」「将来への不安」(14.7%)といった病気の進行と心理的な面に関する内容でした。患者さん同士の情報交換や心理的サポートの場がまだまだ不足していることが推察されます。

この調査結果を受け、甲状腺専門病院 伊藤病院 学術顧問の高見博先生は次のようにコメントしています。「希少疾患である甲状腺がんについては一般的にはあまり知られていません。予後が良好で、多くの患者さんが手術後早期に通常の日常生活に戻れますが、甲状腺疾患特有の患者負担が続くことも事実です。患者さんが高いQOLを維持しながら日常生活を続けるためには、周囲の疾患理解向上が重要です。また、甲状腺がんは、公的ながん検診の対象にはなっていません。調査結果のとおり、甲状腺がんは、早期は自覚症状に乏しく、一般の人間ドックや健康診断で疑いが発覚するケースが多くあります。喉のしこりなどの症状に気づく時には病気が進行している場合もあるため、甲状腺機能に不安のある方はもちろん、だるさや喉の違和感が続く方は、一度は甲状腺専門の診療科で検診を受けられることをお勧めします」

【調査概要】

調査内容	甲状腺がん患者さんの意識調査
調査対象	全国の甲状腺がんを「患った」「患っている」患者
有効回答	20代～80代以上の男女 565名
調査時期	2014年10月1日(水)～10月10日(金)
調査方法	インターネット調査

【結果詳細】別添資料

こちらからもご確認いただけます→http://by1.bayer.co.jp/html/press_release/2014/news2014-11-05-a.pdf

バイエル薬品株式会社

2014年11月5日

Bayer Yakuhin, Ltd./Communications

バイエル薬品株式会社について

バイエル薬品株式会社は本社を大阪に置き、医療用医薬品、コンシューマーケア、ラジオロジー&インターベンショナル(画像診断関連製品)、動物用薬品(コンパニオンアニマルおよび畜産用薬品)の4事業からなるヘルスケア企業です。医療用医薬品部門では、循環器領域、腫瘍・血液領域、ウイメンズヘルスケア領域、眼科領域の4領域に注力しています。バイエル薬品は、**Science For A Better Life** (よりよい暮らしのためのサイエンス)の企業スローガンのもと、技術革新と革新的な製品によって、日本の患者さんの「満たされない願い」に応える先進医薬品企業を目指しています。

バイエル薬品ホームページ: <http://www.bayer.co.jp/byl>

将来予想に関する記述 (Forward-Looking Statements)

このニュースリリースには、バイエルグループもしくは各事業グループの経営陣による現在の試算および予測に基づく将来予想に関する記述 (Forward-Looking Statements) が含まれています。さまざまな既知・未知のリスク、不確実性、その他の要因により、将来の実績、財務状況、企業の動向または業績と、当文書における予測との間に大きな相違が生じることがあります。これらの要因には、当社の Web サイト上 (www.bayer.com) に公開されている報告書に説明されているものが含まれます。当社は、これらの将来予想に関する記述を更新し、将来の出来事または情勢に適合させる責任を負いません。

「甲状腺がん患者さん意識調査」結果

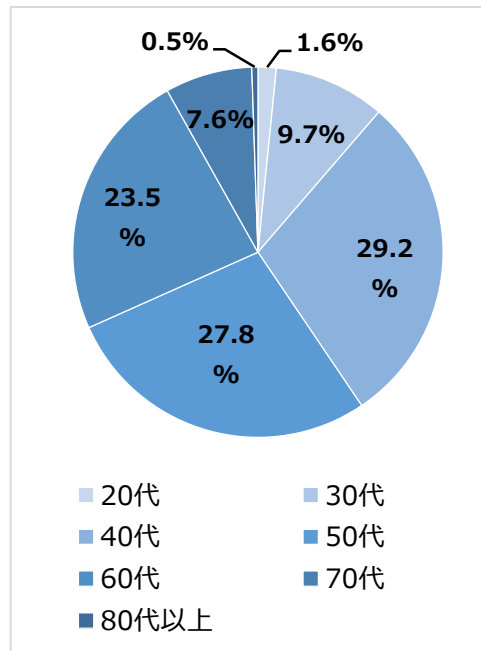
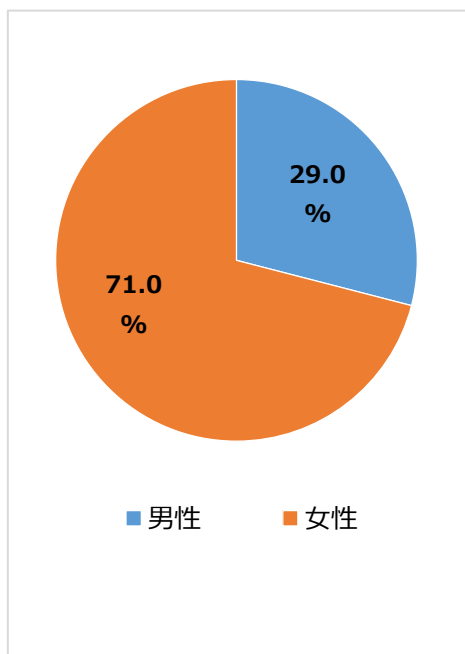
バイエル薬品株式会社

▼実施概要

- (1) 調査内容：甲状腺がん患者さんの意識調査
- (2) 調査対象：甲状腺がんを「患った」「患っている」患者
- (3) 有効回答：565名
- (4) 調査時期：2014/10/1～2014/10/10
- (5) 調査方法：インターネット

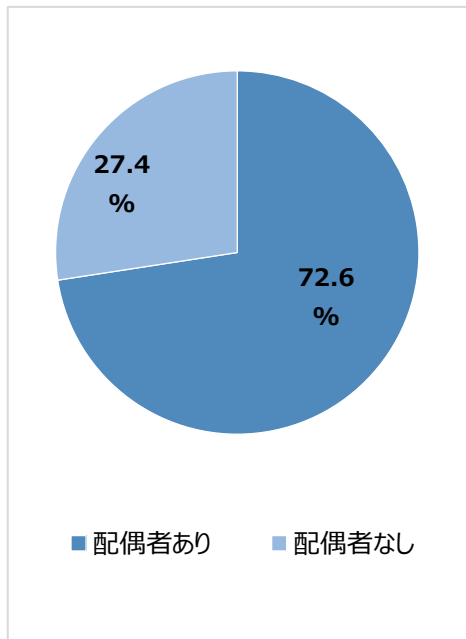
▼有効回答者の属性

- (1) 性別 男性 164名、女性 401名
- (2) 年代 20代 9名、30代 55名、40代 165名、50代 157名、60代 133名、70代 43名、80代以上 3名

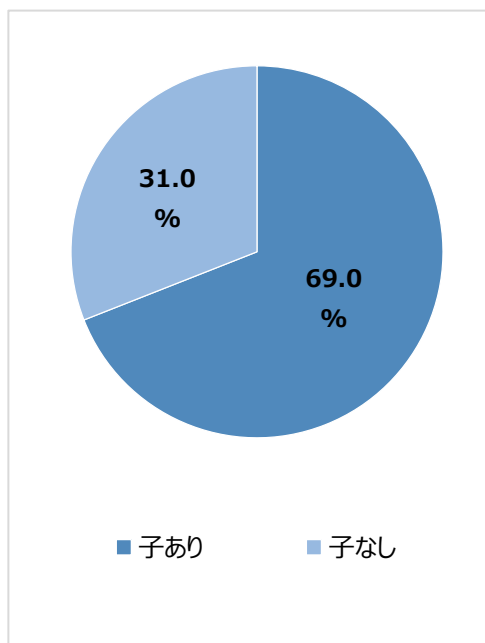


(3) 配偶者・子の有無

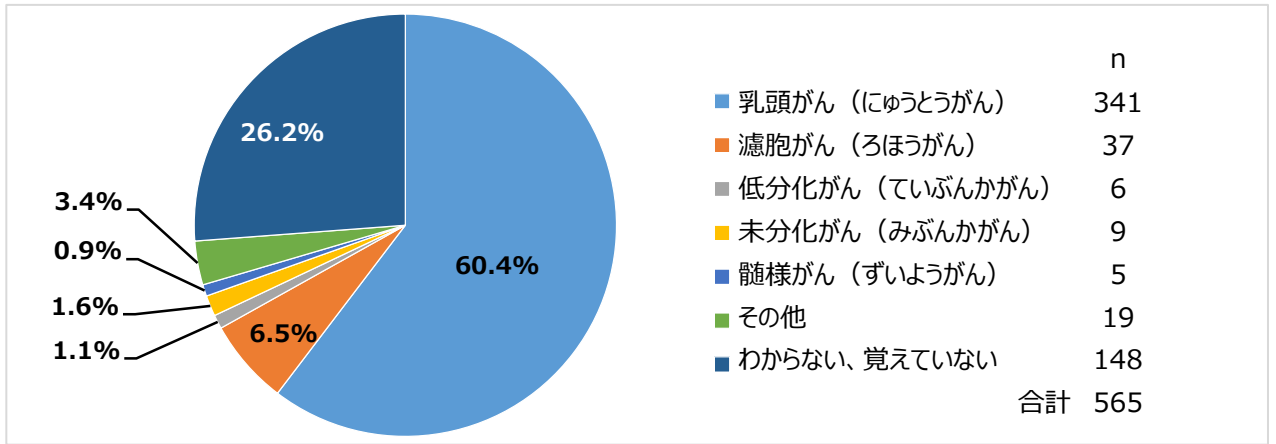
配偶者あり 410名、 配偶者なし 155名



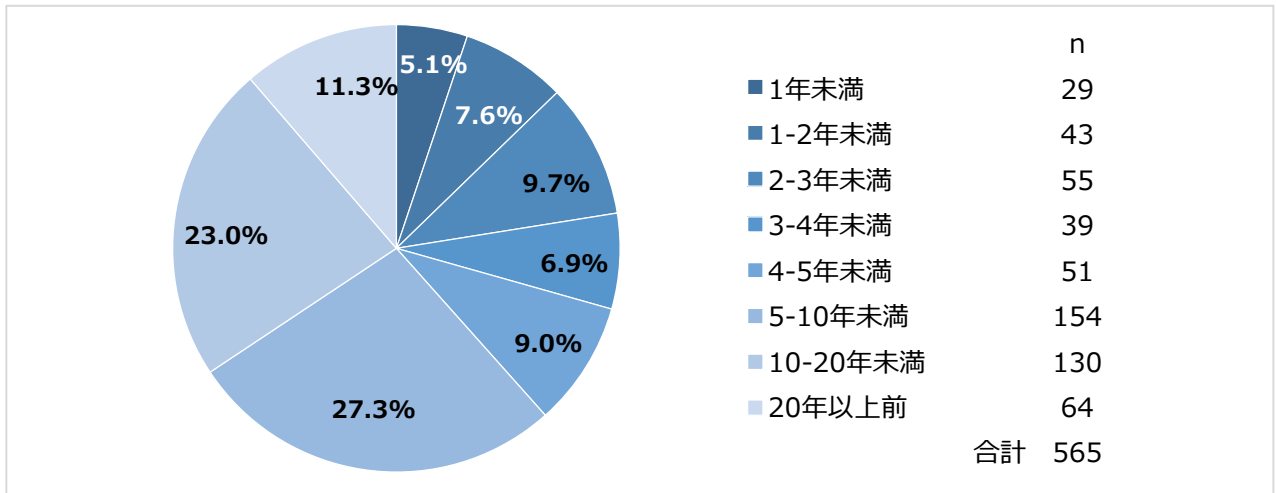
子あり 390名、 子なし 175名



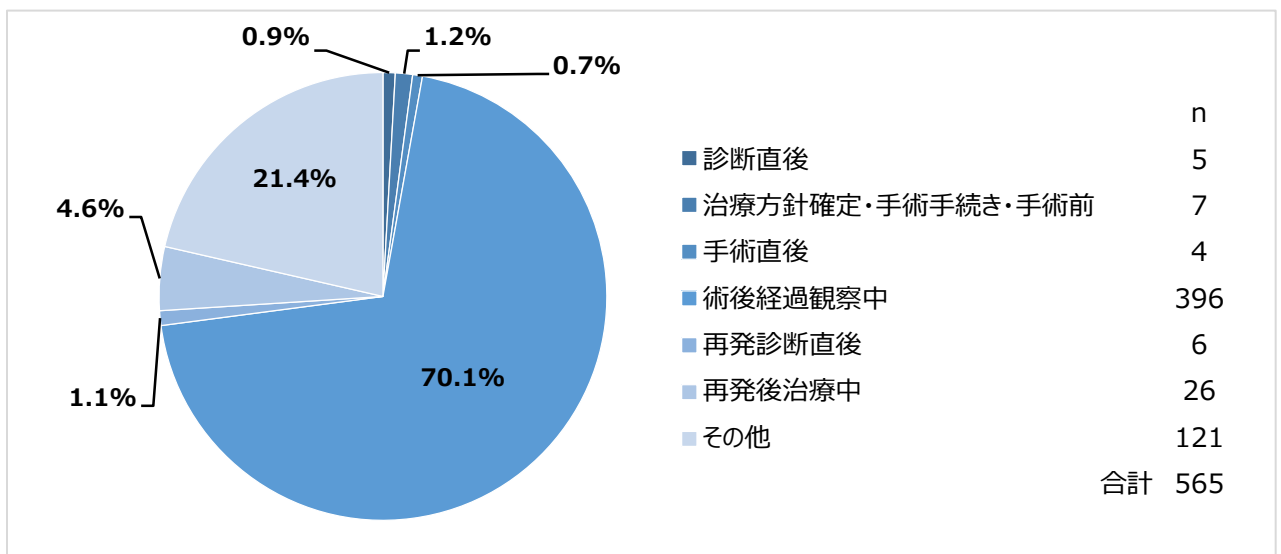
【Q1】あなたが初めて診断された甲状腺がんの分類について教えてください。



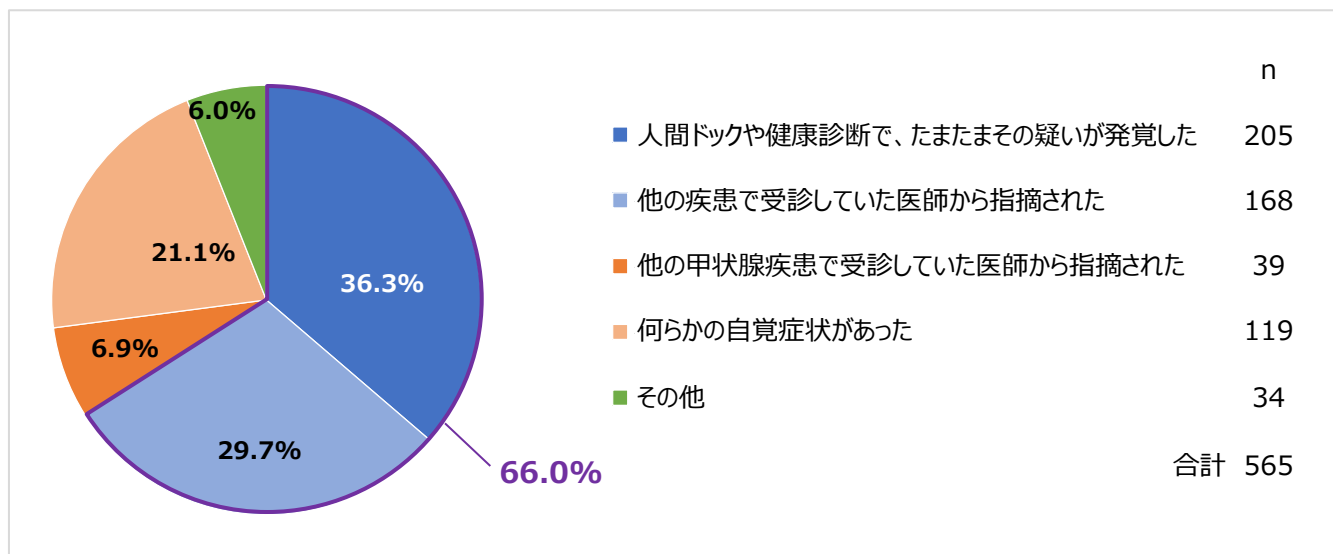
【Q2】あなたが甲状腺がんと医師から初めて診断を受けたのはいつですか。



【Q3】現在の治療状況として、一番近いものを教えてください。



【Q4】甲状腺がんの治療を受ける医療機関を受診したきっかけはなんですか。



【Q5】前問で“何らかの自覚症状があった”とのことですが、どんな症状が具体的に教えてください。

▽回答（抜粋）

●喉・首・リンパの腫れ・しこり・ふくらみ・違和感

- ・のどところにゴルフボールのような腫れができていた（30代、女性、乳頭がん、術後経過観察中）
- ・検査を受ける2～3年前から首にしこりがある、気になっていました。痛くもかゆくもないので放置していましたが、気になるので乳がん検診の時に一緒にエコーをかけてもらって、癌とわかりました。（50代、女性、乳頭がん、術後経過観察中）
- ・太ってないのに、首まわりがきつくなった。（ワイシャツ）（50代、男性、乳頭がん、術後経過観察中）
- ・リンパ節の辺りが腫れているなどと思った 痛みはなし（30代、女性、乳頭がん、術後経過観察中）
- ・チクチクした痛みがあった、腫れがひどかった（20代、女性、乳頭がん、術後経過観察中）
- ・飲み込みで違和感があったので（50代、女性、乳頭がん、術後経過観察中）
- ・扁桃腺が腫れているのかと思い受診した、医師から精密検診を受けるように指示され その結果甲状腺がんと診断された。（70代、男性、がん種不明、術後経過観察中）
- ・寝ている時のどが苦しかった（40代、女性、乳頭がん、術後経過観察中）

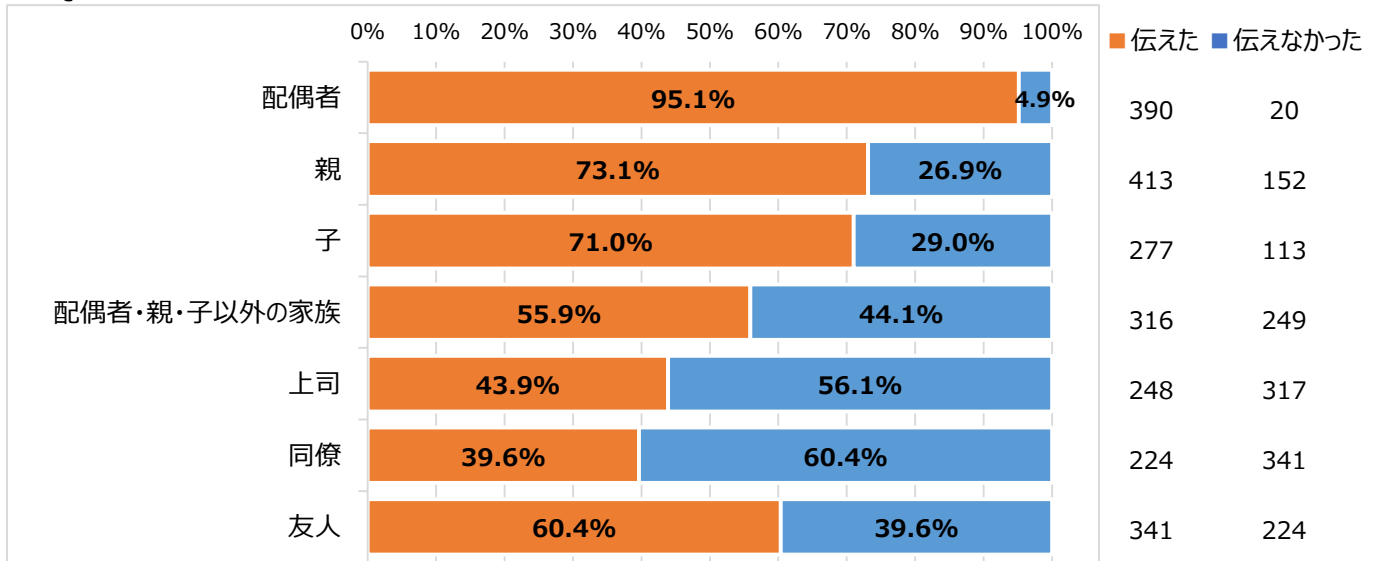
●だるさ、疲れやすさ

- ・怠さや頸部リンパの腫れがあった（40代、男性、乳頭がん、術後経過観察中）
- ・非常に疲れやすくなった、皮膚が乾燥しがちになった（30代、女性、乳頭がん、術後経過観察中）
- ・全身倦怠、手の震え、喉のしこり（50代、女性、乳頭がん、術後経過観察中）
- ・異常な汗と疲労、そしてのどに段がついて盛り上がっていた。以前から喉は腫れ気味だったが、その腫れの上に段がついており、家族からおかしいといわれ受診した。（50代、女性、乳頭がん、術後経過観察中）
- ・疲れやすく、常に微熱があり体がだるかったので何もしたくない、できない毎日でした。（40代、女性、乳頭がん、術後経過観察中）
- ・体の極度の不調 すぐ疲れ集中力がなくなる等（60代、女性、がん種不明、術後経過観察中）

●咳が続く、声がかれる

- ・2ヶ月近く咳が止まらなかった。（40代、女性、乳頭がん、術後経過観察中）
- ・声が出にくくなった（50代、女性、乳頭がん、術後経過観察中）
- ・喉の圧迫感、声がかすれる（60代、女性、がん種不明、術後経過観察中）

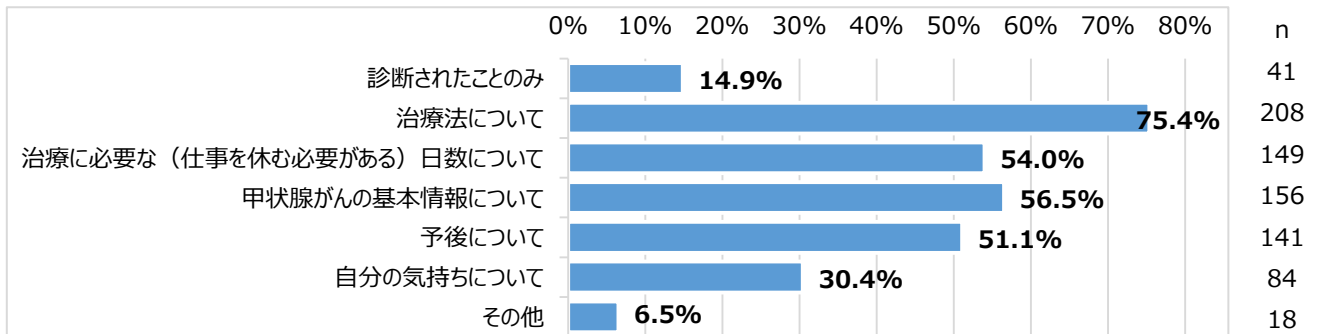
【Q6】甲状腺がんと診断されたことを、あなたは誰に伝えましたか。＜複数選択＞



【Q7】前問で「Q6で回答した選択肢」に伝えたとのことでしたが、診断されたこと以外に、「Q6で回答した選択肢」にはどんなことを伝えましたか。当てはまるものを選んでください。＜複数選択＞

(※【Q6】で4者以上選んだ場合は、ランダムで選択した3者について回答)

▼配偶者

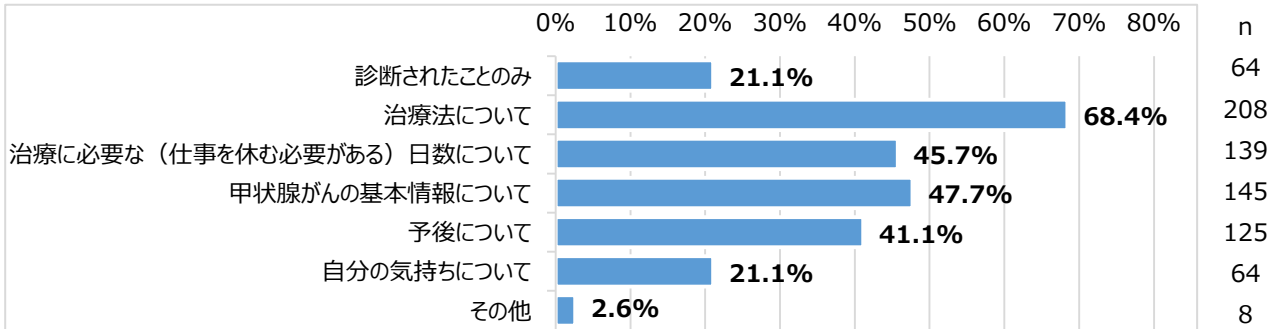


(n=276/複数選択)

▽「その他」のFA回答（抜粋）

- ・子供の世話（50代、女性、乳頭がん、術後経過観察中）
- ・経済的な費用負担（60代、男性、乳頭がん、術後経過観察中）
- ・子供を産むにあたって（60代、女性、がん種不明、術後経過観察中）
- ・早期発見なので心配する事はないという事（40代、女性、乳頭がん、術後経過観察中）
- ・万一の事があればこうしてほしいということ（60代、女性、乳頭がん、術後経過観察中）

▼親

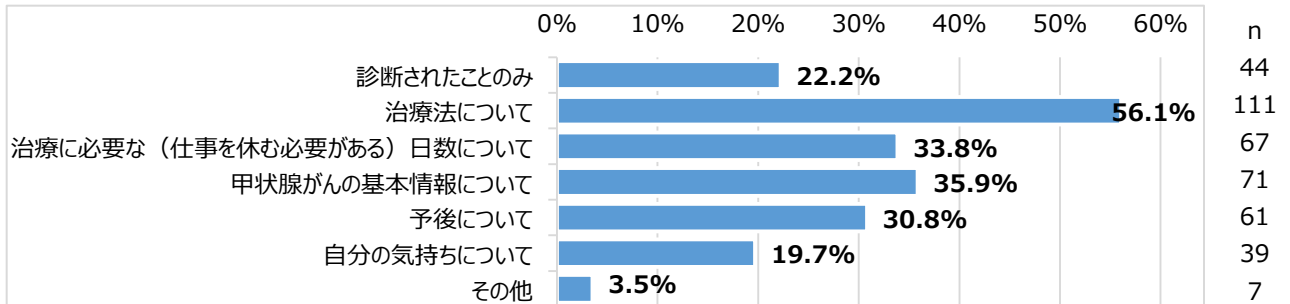


(n=304/複数選択)

▽「その他」のFA回答（抜粋）

- ・入院中の子供の世話と見舞いについて（40代、女性、がん種不明、完治）
- ・子供だったので親のほうが先に知っていた（50代、女性、がん種不明、術後経過観察中）
- ・死の可能性や今後どう向き合っていくか（30代、男性、乳頭がん、術後経過観察中）
- ・親と一緒に医師の診断を聞いた（50代、女性、がん種不明、術後経過観察中）

▼子

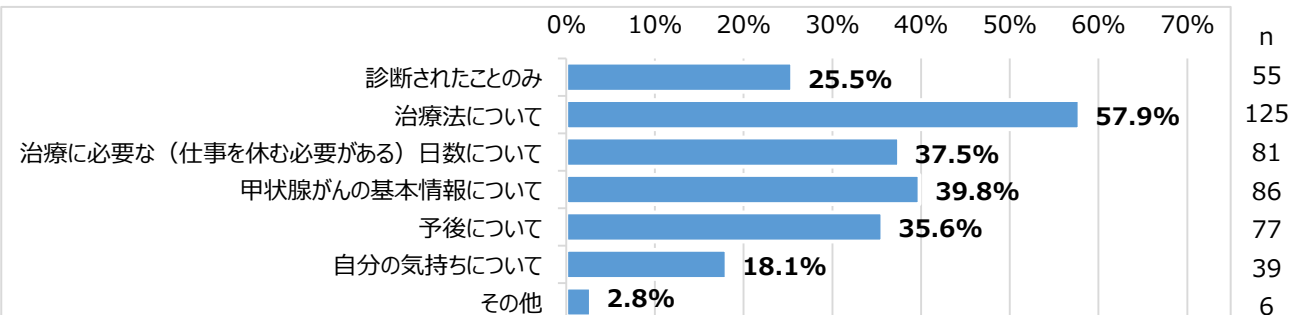


(n=198/複数選択)

▽「その他」のFA回答（抜粋）

- ・父は癌を克服するぞ、という宣言。（60代、男性、乳頭がん、術後経過観察中）
- ・手術後に話した（60代、女性、乳頭がん、術後経過観察中）
- ・まだ幼いので「病院にお泊りするよ」のみ（30代、女性、乳頭がん、手術直後）
- ・娘と一緒に医師の説明を受けた（80代、女性、がん種不明、再発後治療中）

▼配偶者・親・子以外の家族

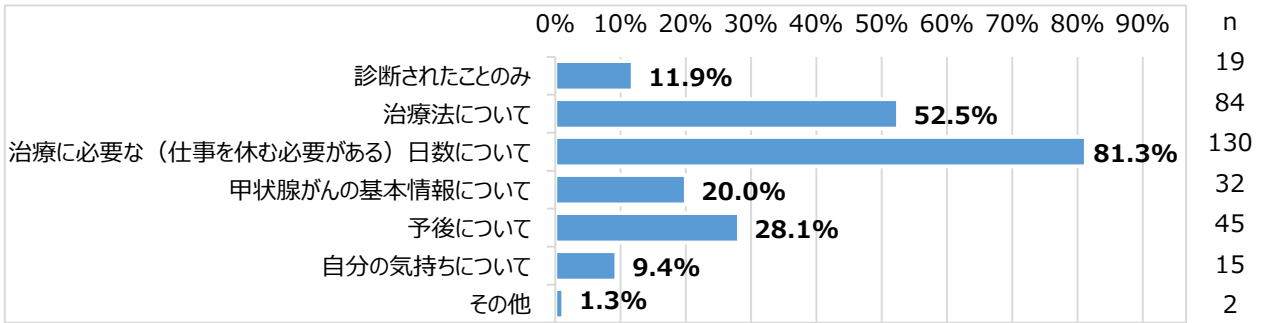


(n=216/複数選択)

▽「その他」のFA回答（抜粋）

- ・癌にかかっても治療後、普通に生きられること。（60代、男性、乳頭がん、術後経過観察中）
- ・早期発見なので心配いらぬという事。たまには人間ドックを受けろという事（40代、女性、乳頭がん、術後経過観察中）
- ・自分が保育園の送り迎えをしていた孫にしばらく会えない事を伝えた（60代、女性、乳頭がん、術後経過観察中）

▼上司

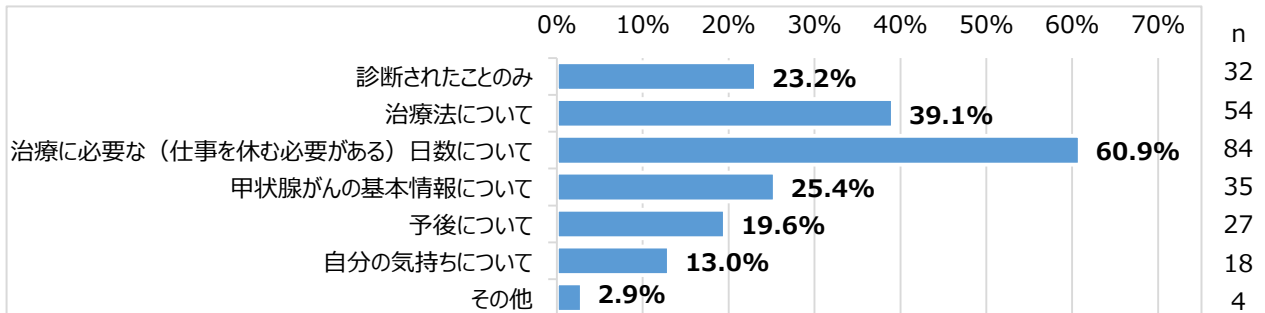


▽「その他」のFA回答（抜粋）

(n=160/複数選択)

- ・自分だけでは進捗できない仕事スケジュールについて（60代、女性、乳頭がん、術後経過観察中）
- ・退職すること（50代、女性、乳頭がん、術後経過観察中）

▼同僚

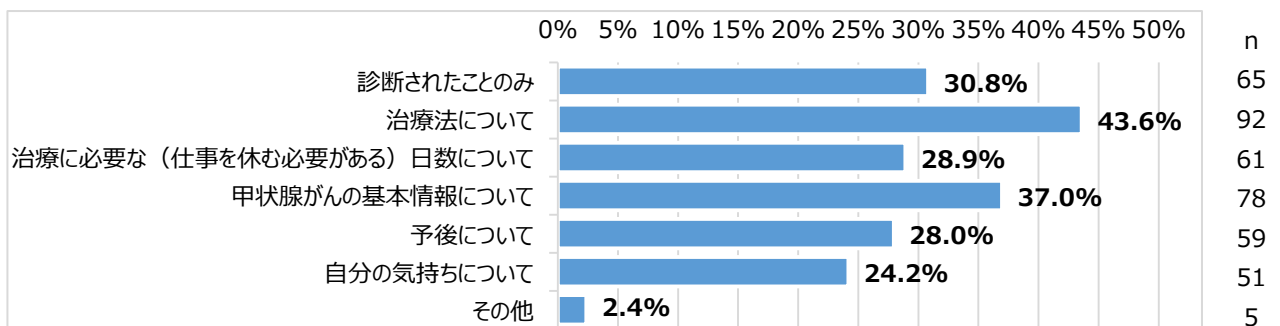


▽「その他」のFA回答（抜粋）

(n=138/複数選択)

- ・仕事の調整（60代、女性、乳頭がん、術後経過観察中）
- ・退職する事（嘆声のため）（50代、女性、乳頭がん、術後経過観察中）

▼友人



▽「その他」のFA回答（抜粋）

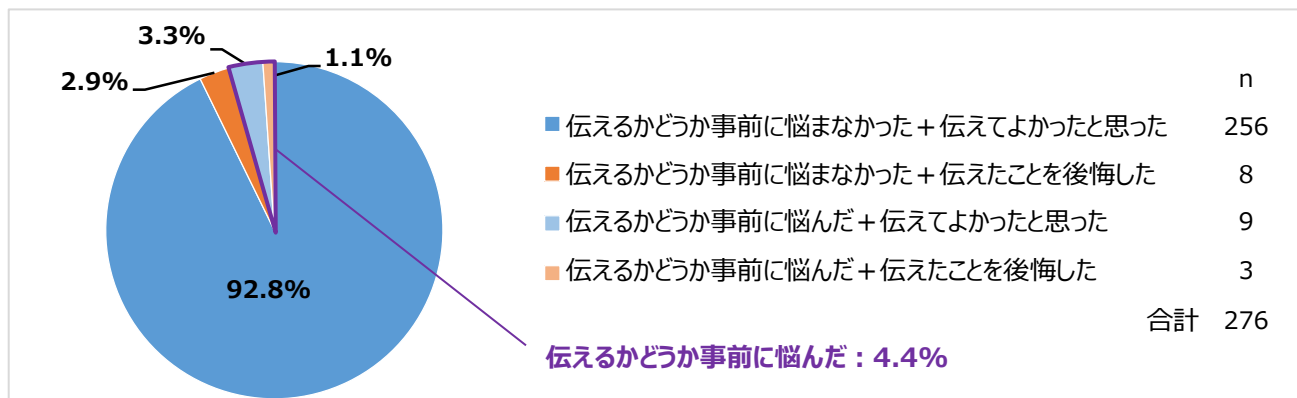
(n=211/複数選択)

- ・死や声を失う可能性と覚悟やどう生きるかがベターか（30代、男性、乳頭がん、術後経過観察中）
- ・完治してから伝えました（60代、女性、がん種不明、術後経過観察中）
- ・術後声が出し辛い事。首の手術跡にテープを貼っている事。（40代、女性、乳頭がん、術後経過観察中）

【Q8】「Q6で回答した選択肢」に甲状腺がんと診断されたことを伝えた時や伝えた後に、あなたはどう思いましたか。一番近い組み合わせを選んでください。

(※【Q6】で4者以上選んだ場合は、ランダムで選択した3者について回答)

▼配偶者



【Q9】その（Q8の回答の）理由やエピソードを教えてください。

(※【Q6】で4者以上選んだ場合は、ランダムで選択した3者について回答)

▼配偶者

●伝えるかどうか事前に悩まなかった + 伝えてよかったと思った

- ・不安な気持ちを和らげてくれた。夫は職場の人（一緒に旅行に行って私のことを知っている）に話をしながら涙がでたと書いていた。不安なのは自分だけではない、と感じて早くよくなろうと思った（50代、女性、乳頭がん、術後経過観察中）
- ・一緒に住んでいるので、協力が必要だったし、私以上に病気について調べてくれた。家事もしてくれて、支えてくれて感謝している。（40代、女性、乳頭がん、術後経過観察中）
- ・もしかの時の対策や入院中の家のことや仕事のことを相談したので、しっかり対策ができ安心して治療ができた。心配してくれて大事にしてもらって相談相手になってもらい心強かった。夫や子供の愛情が再確認でき家族の愛情が深まった（60代、女性、がん種不明、術後経過観察中）
- ・主人の方が癌と聞いて焦っていました。命にかかわるのか、再発はどうなのか、私以上に心配している様子でした（50代、女性、乳頭がん、術後経過観察中）
- ・自身が医者から「死なないガンです」といわれたので、「ガン＝死」と言う考えが浮かばず、軽い気持ちで家族に話した。家族も軽く受け止めていたように思われたが、配偶者は「死が浮かんだ」と後から言われた。（50代、女性、濾胞がん、術後経過観察中）
- ・共に将来を過ごす相手なので、嘘をついたり隠すことなくありのままを話した。予後がよい種類であったため、そのまま話しました。（30代、女性、乳頭がん、術後経過観察中）

●伝えるかどうか事前に悩まなかった + 伝えたことを後悔した

- ・患者なのに慰めなければならなかった（40代、男性、乳頭がん、再発後治療中）

●伝えるかどうか事前に悩んだ + 伝えてよかったと思った

- ・私から言ったというより、主治医から家族として説明がありました。冷静に聞いてくれたので、私も安心出来ました。（40代、女性、乳頭がん、術後経過観察中）

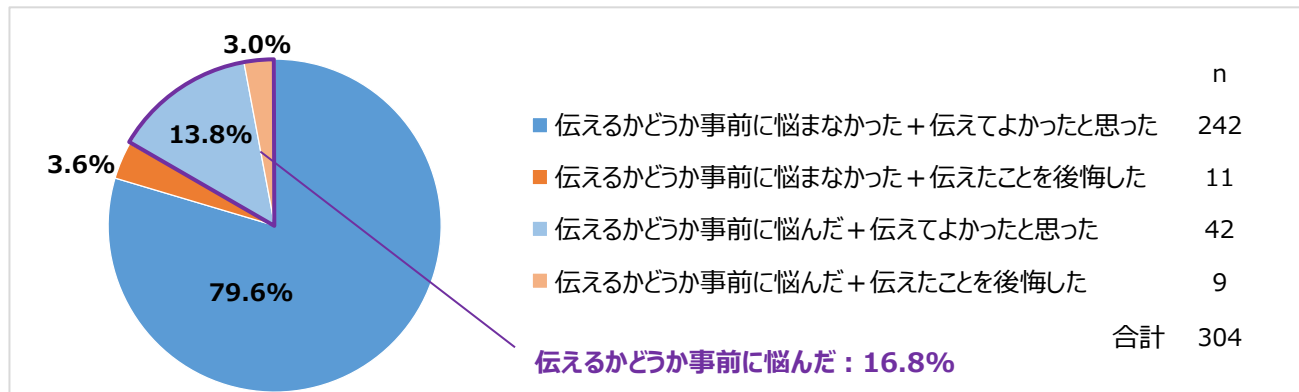
●伝えるかどうか事前に悩んだ + 伝えたことを後悔した

- ・急いで手術する必要がないと言われ、4ヶ月ほど先に予約をしていたが、娘と夫からもっと早くに手術をしたほうが良いのではないかと言われた。ただ、私としてはその前に上の娘の結婚式を控えていたので時期としては妥当だと思っていたので、しばらく、家庭の雰囲気暗くなった。夫の誕生日の前だったこともあり、もっと後で伝えたほうがよかったのではないかと後悔した。（50代、女性、乳頭がん、術後経過観察中）

【Q8】「Q6で回答した選択肢」に甲状腺がんと診断されたことを伝えた時や伝えた後に、あなたはどのように思いましたか。一番近い組み合わせを選んでください。

(※【Q6】で4者以上選んだ場合は、ランダムで選択した3者について回答)

▼親



【Q9】その (Q8の回答の) 理由やエピソードを教えてください。

(※【Q6】で4者以上選んだ場合は、ランダムで選択した3者について回答)

▼親

● 伝えるかどうか事前に悩まなかった + 伝えてよかったと思った

- ・隠すつもりもないし、何も疑問はなかった。金銭面等で困る事があれば言いなさいと言ってくれたので (頼るつもりはないが) ありがたいと思った。(40代、女性、がん種不明、治療方針確定・手術手続き・手術前)
- ・まだ娘が小学生だったので、入院中は面倒を見てもらわないといけなかったし、担当医からも発見が早かったので何の心配もないと言われていたので隠さず話し、安心してもらったので良かったです。(50代、女性、乳頭がん、術後経過観察中)
- ・親にいうのは当然と思った。ただし診断が正式に下されて方針も決めるまでは余計な心配をさせてはいやなので言わなかった。自分の子供が自分より先に病気になったりするのはいたたまれないだろうし心配だろうけど、隠せるモノではないし、ましては手術入院時にも子供を預かってもらったり、お願いして協力してもらわないといけなかったことだったので、そのお願いを含めて、すぐに主人と一緒に話した。(30代、女性、乳頭がん、術後経過観察中)
- ・病名だけを伝えると『癌』という響きで必要以上に不安を持たせてしまうと思ったので基本情報は詳しく伝えたが、それで良かったと思う。(30代、女性、乳頭がん、術後経過観察中)
- ・伝えたことでつらい気持ちが少し楽になった。伝えてからも周囲に同じ病気の人がいるが、治療してすぐ元気にしてるなど、前向きな気持ちになれるような話をたくさんしてくれたから (30代、女性、乳頭がん、術後経過観察中)
- ・まだ24歳と若かったので、癌の診断を受けたことに自分自身だけでは受け止めきれなかった。(30代、女性、乳頭がん、術後経過観察中)

● 伝えるかどうか事前に悩まなかった + 伝えたことを後悔した

- ・未成年だったため問答無用で医者が親を呼び出して、本人より先に伝えてしまった。親の方が深く思い悩んでしまったので、もっといい伝え方があったと思う (20代、女性、乳頭がん、術後経過観察中)

● 伝えるかどうか事前に悩んだ + 伝えてよかったと思った

- ・伝えることにより心配をかけたが、自分の気持ちもわかってくれたこと (50代、女性、乳頭がん、術後経過観察中)

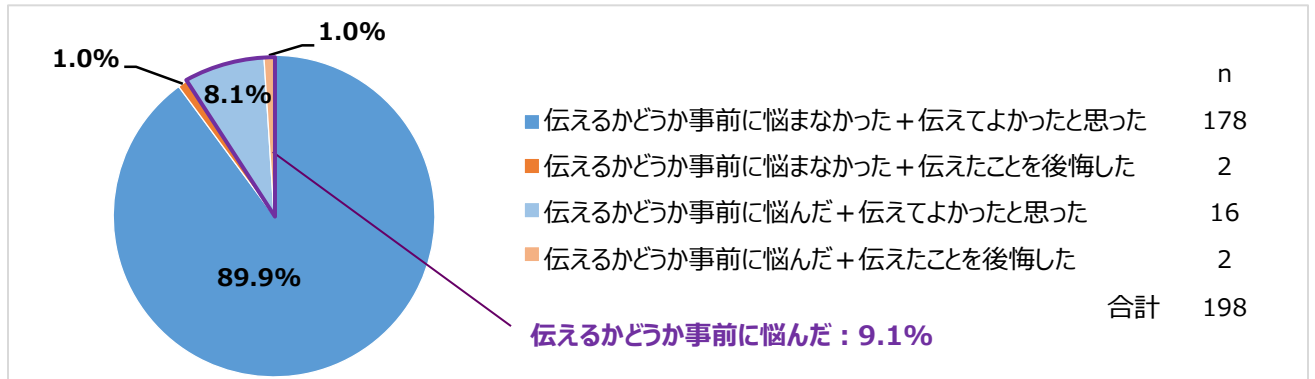
● 伝えるかどうか事前に悩んだ + 伝えたことを後悔した

- ・本人よりも親の動揺の方が激しくボロボロになっていたから (40代、女性、がん種不明、術後経過観察中)

【Q8】「Q6で回答した選択肢」に甲状腺がんと診断されたことを伝えた時や伝えた後に、あなたはどのように思いましたか。一番近い組み合わせを選んでください。

(※【Q6】で4者以上選んだ場合は、ランダムで選択した3者について回答)

▼子



【Q9】その（Q8の回答の）理由やエピソードを教えてください。

(※【Q6】で4者以上選んだ場合は、ランダムで選択した3者について回答)

▼子

● 伝えるかどうか事前に悩まなかった + 伝えてよかったと思った

- ・黙って家事を手伝ってくれ、入院中の家の事も心配しなくてもいいと言ってくれ、安心して治療にあたれたから。(50代、女性、乳頭がん、術後経過観察中)
- ・ママ死んじゃうの？と言われた時はドキッとしましたが、今の状態を説明して、手術すれば大丈夫だからと言うと安心してくれました。私の実家ででの生活や病院にお見舞いに来ることのほうが楽しかったようです。(50代、女性、乳頭がん、術後経過観察中)
- ・手術をする事に決めた時点で、きっちりと伝えた。母子家庭だったので、曖昧な伝え方ではかえって不安に思うと考えた。(60代、女性、がん種不明、術後経過観察中)
- ・治療を続けていくには家族の協力は不可欠で、入院治療も度重なるのできちんと説明しようと思った。ただ5～6歳の頃は「ママと離れたくない」など不安を口にすることが多かったが、あるときに「ママの入院は元気になるための入院だ」と話してから前向きになった。(40代、女性、濾胞がん、再発後治療中)
- ・幼稚園児だったが、いろいろと我慢してもらわないといけなくなるので、理由を説明した。ちいさかったのでよく理解できていなかったと思うが、それなりにがんばってくれたと思う。(40代、女性、乳頭がん、術後経過観察中)
- ・入院して手術する事なので隠しておく理由がなかった。子供も成人を過ぎたし、人生、いろんなことがあるのでオープンにした方がいいと思った。配偶者と一緒に家事やペットの世話をしてもらわないといけなかったから、早めに話し合っておいてよかった。私は病気でも落ち込まないタイプなので子供も明るく受け止めてくれた。(40代、女性、乳頭がん、術後経過観察中)

● 伝えるかどうか事前に悩まなかった + 伝えたことを後悔した

- ・ほかの病気で入院したのに癌も発見されてダブルでショックを与えた。私の前では何も言わなかったが後で聞いた話ではかなりショックだったらしい(50代、女性、乳頭がん、術後経過観察中)

● 伝えるかどうか事前に悩んだ + 伝えてよかったと思った

- ・癌の手術とは言えなかった。簡単な手術で入院してくると説明した。(50代、女性、がん種不明、完治)
- ・心配や経済的な不安を与え、学業に集中できなくなるのではないかと悩んだ。結果、術後も良好で再発もなく通常の生活に戻れたので、今は伝えて良かったのではないと思う。(60代、男性、乳頭がん、術後経過観察中)

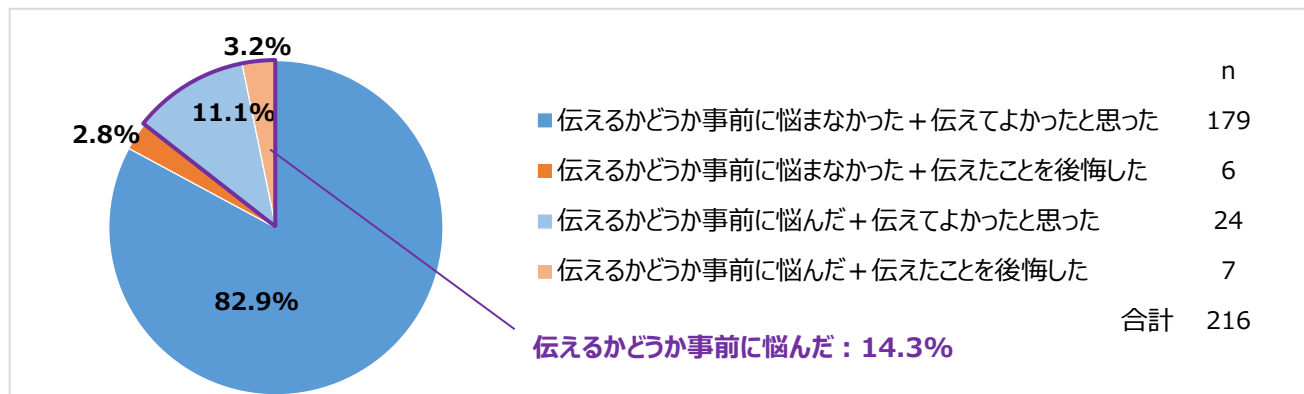
● 伝えるかどうか事前に悩んだ + 伝えたことを後悔した

- ・子供が情緒不安定になった(60代、女性、がん種不明、再発後治療中)

【Q8】「Q6で回答した選択肢」に甲状腺がんと診断されたことを伝えた時や伝えた後に、あなたはどのように思いましたか。一番近い組み合わせを選んでください。

(※【Q6】で4者以上選んだ場合は、ランダムで選択した3者について回答)

▼配偶者・親・子以外の家族



【Q9】その（Q8の回答の）理由やエピソードを教えてください。

(※【Q6】で4者以上選んだ場合は、ランダムで選択した3者について回答)

▼配偶者・親・子以外の家族

● 伝えるかどうか事前に悩まなかった + 伝えてよかったと思った

- ・これから大人になっていく甥が、自分以外の人間が置かれている状況やその気持ちを、真剣に考えるようになったので（50代、女性、乳頭がん、再発後治療中）
- ・時間の大切さが自分も周りにも伝わった気がする（40代、女性、がん種不明、術後経過観察中）
- ・姉に伝えたので病気のことを調べてくれたり家事を手伝ってもらえることが出来た（40代、女性、乳頭がん、術後経過観察中）
- ・早期発見のラッキーなケースだったので、明るく話げできた。甲状腺をいままで意識した事がなかったので、妹達にも甲状腺が大事な臓器である事や、年齢的に、思うところがあれば人間ドックを受けて健康管理する必要性を伝えたかった。入院中、離れて暮らしている親への連絡をお願いしたりした。（40代、女性、乳頭がん、術後経過観察中）

● 伝えるかどうか事前に悩まなかった + 伝えたことを後悔した

- ・母に内容を教えたので、いずれ姉妹にもわかることなので伝えた。母ほど精神力が強くなかったので、内容を聞いた後に動揺している姿を見て伝えないほうがよかったと思った。（30代、男性、乳頭がん、再発後治療中）

● 伝えるかどうか事前に悩んだ + 伝えてよかったと思った

- ・余計な心配をかけたくなかったので伝えるのを悩んだが、その後の治療などでそのまま報告できる(嘘をつかずにすむ)ので伝えてよかった。（30代、女性、乳頭がん、術後経過観察中）

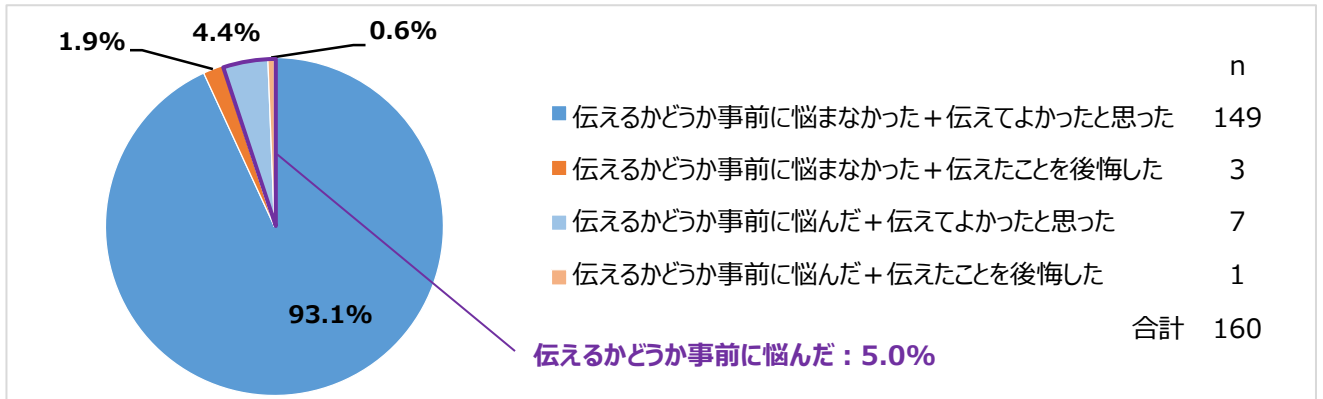
● 伝えるかどうか事前に悩んだ + 伝えたことを後悔した

- ・同居していない妹には、伝えるべきか迷ったが、万一のことを考えて伝えた。でも、だからといって妹がどうすることもできるわけではなく、それを聞いてどういう受け答えをするべきか迷わせてしまって、かえって悪いことをしたと思った。（50代、女性、乳頭がん、術後経過観察中）

【Q8】「Q6で回答した選択肢」に甲状腺がんと診断されたことを伝えた時や伝えた後に、あなたはどのように思いましたか。一番近い組み合わせを選んでください。

(※【Q6】で4者以上選んだ場合は、ランダムで選択した3者について回答)

▼上司



【Q9】その（Q8の回答の）理由やエピソードを教えてください。

(※【Q6】で4者以上選んだ場合は、ランダムで選択した3者について回答)

▼上司

●伝えるかどうか事前に関心なかった + 伝えてよかったと思った

- ・手術により休業が必要になったため、伝えなければならなかった。声帯除去により手話生活になることもある旨を伝えた。上司は、甲状腺癌の知識が全くなかったことに驚いた。(60代、男性、乳頭がん、術後経過観察中)
- ・結果的には退職することになったが、その後も交流が続いていて折あるごとに気遣ってくれる(40代、男性、乳頭がん、術後経過観察中)
- ・手術するまでも検査などで仕事ができないときが常にあったので代理の要員をいれてもらったり復帰直後もしばらく助けてもらったりできてもどのように仕事をこなせるようになった(20代、女性、乳頭がん、術後経過観察中)
- ・仕事を休むのならきちんと理由を伝えた方が、休む必要のある期間を決めるのも説得力がある。今後通院する場合や、復職後のことも配慮してもらえる。また、他の人にも知っていてほしいし、病気の早期発見にもつながると考えた(60代、女性、乳頭がん、術後経過観察中)
- ・手術のために長期で仕事を休まないといけなかったが、その期間のフォローや引き継ぎをしてもらった。会社のことは気にせず治療に専念できる環境を作ってくれた。同じ病気の話をしてもらい、励ましてもらった(30代、女性、乳頭がん、術後経過観察中)
- ・休む日数や、復帰後問題ない旨を事前に報告してたら、復帰後もなにも変わらない対応で安心した。(40代、男性、乳頭がん、術後経過観察中)

●伝えるかどうか事前に関心なかった + 伝えることを後悔した

- ・がんと言う一言のイメージが悪い(30代、男性、乳頭がん、術後経過観察中)

●伝えるかどうか事前に関心した + 伝えてよかったと思った

- ・入院、手術が必要なのは話さなければならないが、病名まで伝えるべきか迷った。心配してくれ、早く休みをくれた。(30代、女性、乳頭がん、手術直後)

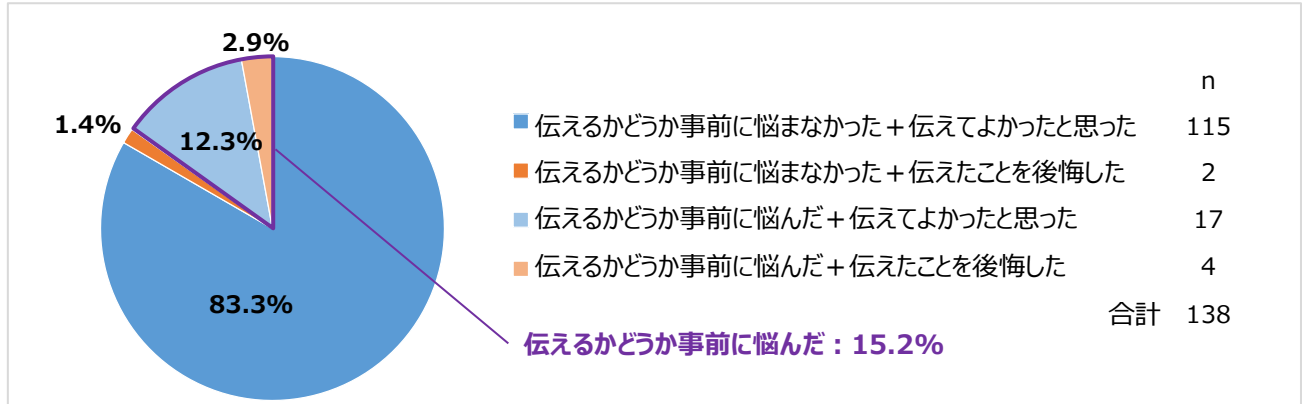
●伝えるかどうか事前に関心した + 伝えることを後悔した

- ・その後、いちいち様子を聞いてくるのでめんどくさい(40代、女性、乳頭がん、術後経過観察中)

【Q8】「Q6で回答した選択肢」に甲状腺がんと診断されたことを伝えた時や伝えた後に、あなたはどのように思いましたか。一番近い組み合わせを選んでください。

(※【Q6】で4者以上選んだ場合は、ランダムで選択した3者について回答)

▼同僚



【Q9】その（Q8の回答の）理由やエピソードを教えてください。

(※【Q6】で4者以上選んだ場合は、ランダムで選択した3者について回答)

▼同僚

●伝えるかどうか事前に悩まなかった + 伝えてよかったと思った

- ・わりと身近に別の癌や甲状腺の病気を患っている人がいて、一緒に不安な想いや保険の知識や経験談などを話せる環境があって良かったと感謝している。(40代、女性、がん種不明、治療方針確定・手術手続き・手術前)
- ・仕事のこと心配しないで治療に専念して安心して休んでくださいといわれた(70代、女性、がん種不明、術後経過観察中)
- ・仕事上迷惑をかけるからには、理由をきちんと伝えるべきであると考えた。女性が多い職場だったので女性特有のこの病気の知識を持ってもらいたかった。(60代、女性、乳頭がん、術後経過観察中)
- ・それまでの体調不良の理由の一つとして理解してもらえた(40代、男性、乳頭がん、術後経過観察中)

●伝えるかどうか事前に悩まなかった + 伝えたことを後悔した

- ・半回神経を切除し声がかれてでにくいときに、声を出さないといけない仕事をさせられた。(全く考慮されなかった)(40代、男性、乳頭がん、術後経過観察中)

●伝えるかどうか事前に悩んだ + 伝えてよかったと思った

- ・気持ちが軽くなった。ただし同僚全員に伝えたわけではない。(50代、女性、乳頭がん、術後経過観察中)
- ・ガンという病気だと知られたくなかったが術後声もでにくくなったので社会復帰が遅れたがその間全部フォローして仕事にもどって来やすい環境を作ってくれていた(20代、女性、乳頭がん、術後経過観察中)
- ・一部の親しい同僚のみに話した。病気のことを社内中に知られるのが嫌だったので信頼できる人のみに話した。話を聞いてくれ、理解してくれる人がいるのは心強い(30代、女性、乳頭がん、手術直後)

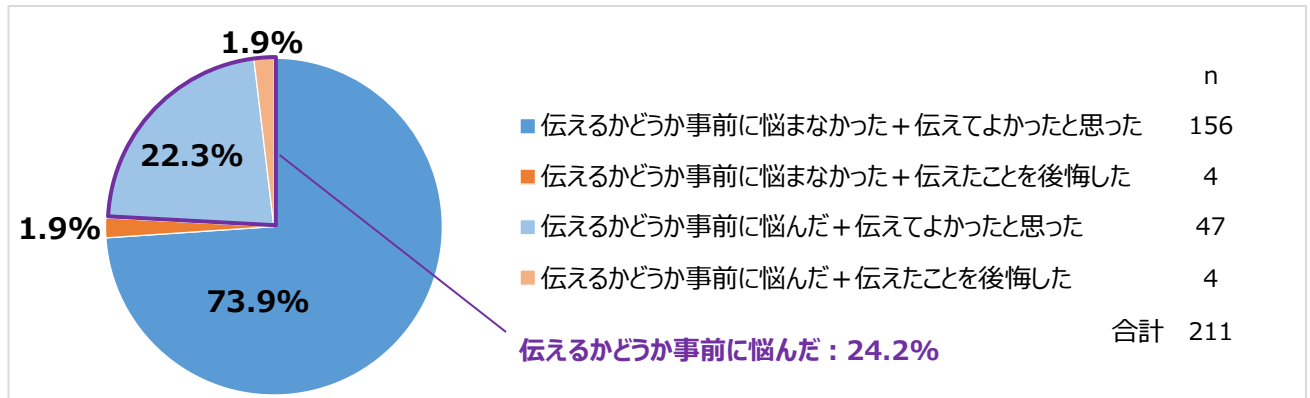
●伝えるかどうか事前に悩んだ + 伝えたことを後悔した

- ・正直なところ復帰後気を使われてやりにくい感じがした(40代、男性、乳頭がん、術後経過観察中)

【Q8】「Q6で回答した選択肢」に甲状腺がんと診断されたことを伝えた時や伝えた後に、あなたはどのように思いましたか。一番近い組み合わせを選んでください。

(※【Q6】で4者以上選んだ場合は、ランダムで選択した3者について回答)

▼友人



【Q9】その（Q8の回答の）理由やエピソードを教えてください。

(※【Q6】で4者以上選んだ場合は、ランダムで選択した3者について回答)

▼友人

● 伝えるかどうか事前に悩まなかった + 伝えてよかったと思った

- ・私が癌の手術を受けてから、心配になり人間ドックで胃癌が見つかり手術を受けた友人がいた。(60代、男性、乳頭がん、術後経過観察中)
- ・友人が甲状腺癌かもしれないと悩んでいて、治療にも不安があったようだったので、自分の経験を伝え、安心してもらった。(60代、女性、がん種不明、術後経過観察中)
- ・伝えても良い友人にだけ伝えた。甲状腺の病気について知って欲しかった。(50代、女性、濾胞がん、術後経過観察中)
- ・自分自身に深刻さがなかったので、ごく普通に話しました。逆に友人のほうが重く感じて、すごく激励をしてくれました。(40代、男性、がん種不明、術後経過観察中)
- ・話す事で自分の気持ちが楽になり、しっかり治療に専念しようと思った。(50代、男性、乳頭がん、術後経過観察中)
- ・友人が、手術日から退院まで付き添ってくれ、私にとって大変有りがたかったです。(60代、男性、乳頭がん、術後経過観察中)

● 伝えるかどうか事前に悩まなかった + 伝えたことを後悔した

- ・私は癌になってショックはなかったが友人は何日も泣いて心配していたので申し訳ないと思った。(50代、女性、乳頭がん、術後経過観察中)

● 伝えるかどうか事前に悩んだ + 伝えてよかったと思った

- ・自分が運よく早期で発見できたことを伝えて、あまり知られていないこの病気への関心を持ってもらえればと思って伝えた。その後検査をして甲状腺の異状が見つかった友人もいたので、伝えてよかったと思っています。(30代、女性、乳頭がん、術後経過観察中)
- ・心配をかけるし、がんという言葉に影響力があるので、距離を置かれるかもと不安だった。けれど勇気を出して話をしてみるとほんとに親身になって話を聞いてもらったり、勇気づけてくれた。(30代、女性、乳頭がん、術後経過観察中)
- ・話を聞いてくれ、心配してくれた。それ以降は病気のことに触れず、いつもど通りに接してくれる。(30代、女性、乳頭がん、手術直後)

● 伝えるかどうか事前に悩んだ + 伝えたことを後悔した

- ・2人の友人に話したが一人の人に話した事を後悔した、私の知らない人たちに話していたから。(60代、女性、がん種不明、再々発後治療中)

甲状腺がんは予後が良いと認識。しかし、その現実と「がん」という病名がもつイメージとの乖離に悩むことも。さらに、甲状腺がん特有の患者負担も目立つ

【Q10】診断直後から今までに、甲状腺がんに関して困ったことや悩んだことがあれば教えてください。(回答抜粋)

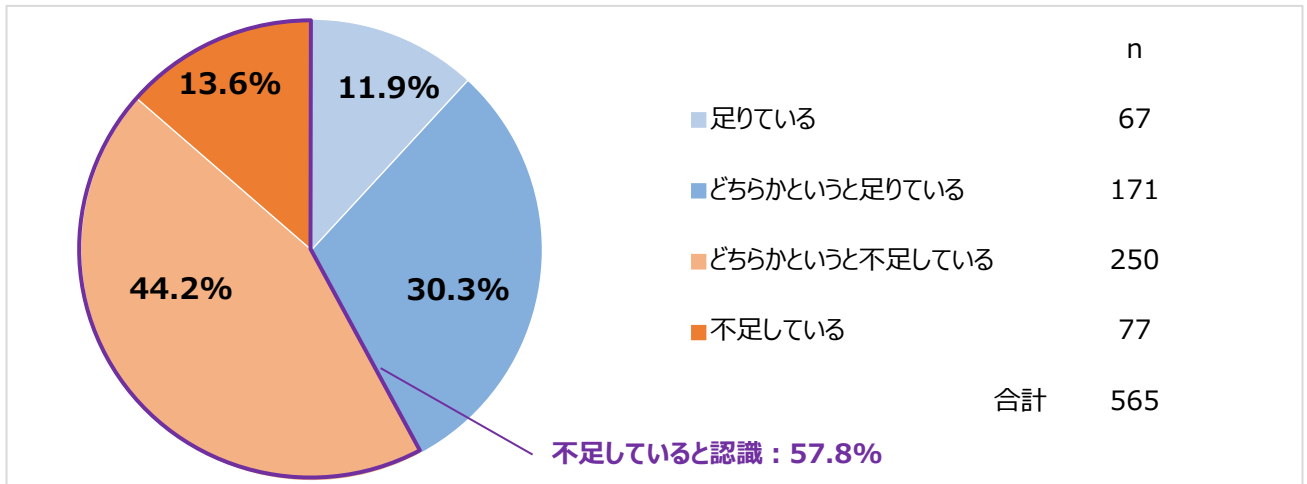
- ・耳慣れない病名なので、大きさに伝わりすぎて困る（40代、女性、乳頭がん、術後経過観察中）
- ・とにかく「がん」という病名に全く心が対処できなくなったし、家族にもその気持ちが伝わらず、自分がどうしてこんなふうになっているのか、頭がおかしいのか、と病気に負けそうになっていた。（50代、女性、乳頭がん、術後経過観察中）
- ・事前に自分で調べるという発想がなかったこともあって、必要以上に癌 = 死というようなイメージが強くてつらかった。（40代、女性、乳頭がん、術後経過観察中）
- ・ガンと診断されたのが20代前半だったので、ショックも大きく、予後がとても気になった（40代、女性、濾胞がん、完治）
- ・やはりガンとして会社などからは判断され、第一線で元気に働けないとみなされる部分がある（40代、男性、乳頭がん、術後経過観察中）
- ・ネットで自分で調べられる時代だが、いいことも悪いこともごちゃ混ぜなので甲状腺癌に限らず正しい判断をするのは難しいし、なによりガンという病気はすぐに前向きに受け止められるような病気ではないことを実感した。このままでは手術を受ける前に精神的にダメになると思い、心療内科を探したが、どこも新患を受けられない状態で、見つけるまで本当に苦しかった。何より「もっと大変な病気の方がたくさんいる事を分かっているのに、なぜ自分がこんな風に苦しむのか分からない」状態がつかった（50代、女性、乳頭がん、術後経過観察中）
- ・癌の中でも甲状腺の癌は予後が良いと聞いています。しかし、癌であることに違いはありません。告知を受ければショックです。甲状腺の半分をとってしまったので、生涯甲状腺ホルモンを薬で補う必要があります。この先ずっと通院と服薬、そして血液検査です。辛いものを感じていましたが、病院は甲状腺の専門病院なので、たくさんの患者さんを見ていて、私だけではないんだと思えるようになり、元気を出そうと考えられるようになりました。一般的に甲状腺の癌の認知度は低いためか、癌になったことは、主人以外知りません。言えないというのが本音です。（40代、女性、乳頭がん、術後経過観察中）
- ・術後から一年くらいは首がうまく動かせず、振り返りなどもすぐできなかつたりした。利き腕側だったのでペンなどもうまく持てず、最初は文字を書くのもリハビリになった。首周りの違和感が最初は肩までと広く、車などでシートベルトを締めるのも手術した首側にベルトが当たると辛かった。リンパ節切除も行ったので神経も少し麻痺が残ったようで、手術した側のまぶたがずっと腫れぼったく感じている。（40代、女性、乳頭がん、術後経過観察中）
- ・傷は直射日光に当たらないほうが良いと聞いたけど、日焼け止めも塗れないし、暑くてストール等首を隠すこともできなかったハンカチでおさえて歩いていた（40代、女性、乳頭がん、術後経過観察中）
- ・首に傷が残るので、術後しばらくは暑い時期でも、首にスカーフをまいたり、ちょうど傷が隠れるようにネックレスのチェーンの長さを切ったり、ハイネックのトップスばかり着たりと、面倒だった。術後約10年経過したが、今も首の傷には違和感を感じる。（つっぱった感じがする）（50代、女性、乳頭がん、術後経過観察中）
- ・声が出にくい。昔の声が出ない。明瞭な発音が出来ない。（60代、男性、乳頭がん、術後経過観察中）
- ・声を出す仕事のため、手術により声がでなくなると困るという不安が大きかった。術後しばらくは本当に声がでなくなり、数ヶ月間必死にリハビリをした。（50代、女性、乳頭がん、術後経過観察中）
- ・薬を飲み続けなくてはいけないこと、術後に声が出なくなる可能性があると言われたこと、ケロイド体質のため術痕が残らないか、また子供を持つことはかなわないのではないかと悩みました。（30代、女性、乳頭がん、術後経過観察中）
- ・通院を一生しなければならぬこと（30代、女性、乳頭がん、術後経過観察中）
- ・再発の不安は15年以上経った今でもあり（50代、男性、乳頭がん、術後経過観察中）
- ・原因が分からないし、思いつくこともない。（60代、男性、乳頭がん、術後経過観察中）
- ・甲状腺の事を知らない人が多く、周囲に病気を理解してもらえないのが辛いです。（40代、女性、乳頭がん、術後経過観察中）

- ・甲状腺がどこにあって、どういう働きをしているかも全く知らなかったので人に説明するのも大変（60代、女性、乳頭がん、術後経過観察中）
- ・他のがんに比べて情報が少ないように感じた（40代、女性、乳頭がん、術後経過観察中）
- ・患者同士で情報交換の出来る場所が、ネットの掲示板くらいしかないので、病院でそういった患者の集まりを催してくれると、いろいろこの病気に関すること、また術後の対処法など知ることが出来るのになと思いました（50代、女性、乳頭がん、術後経過観察中）

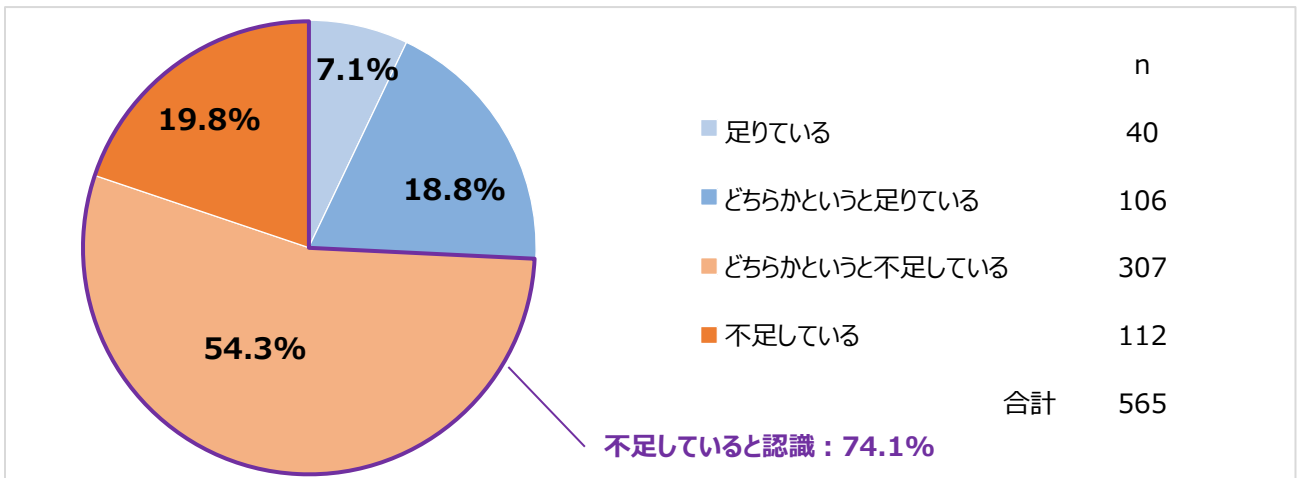
【Q11】甲状腺がんは、他のがんと比べてどのような特徴があると思いますか。(回答抜粋)

- ・自覚症状があまりないので、見つかりづらい。（30代、女性、乳頭がん、手術直後）
- ・予後がよく進行もゆっくりで性質もおとなしいので怖くない癌だと聞いた。（40代、女性、乳頭がん、術後経過観察中）
- ・他の部位に比べて予後の良さが一番の特徴だと思います。それを知ってからかなり前向きになれました。（30代、女性、乳頭がん、術後経過観察中）
- ・とにかく、がんという名前は付いているが、予後がいいガンなので、とても気が楽だった（60代、女性、乳頭がん、術後経過観察中）
- ・予後が非常にいいと言うことは実感しています。そして首を切っただけなので復帰も早く気楽？ながんだと思いました。（30代、男性、乳頭がん、完治）
- ・甲状腺癌の中でも いろいろな種類の癌があるって知りました。（40代、女性、乳頭がん、術後経過観察中）
- ・更年期と似た症状（50代、女性、乳頭がん、術後経過観察中）
- ・がんに限らないのかもしれませんが、甲状腺に何か異常があった場合、更年期と勘違いしやすいというのが特徴かもしれません。（50代、女性、乳頭がん、術後経過観察中）
- ・ホルモンバランスがくずれやすい。（40代、女性、乳頭がん、術後経過観察中）
- ・甲状腺ホルモン剤の服用が必要なこと。（60代、男性、がん種不明、術後経過観察中）
- ・手術痕も服に隠れて見えず、見た目にはわからないので周りから理解してもらえませんが、とにかくいつもだるくて疲れやすく眠い。怠けている、甘えていると思われがちなので辛いです。（40代、女性、乳頭がん、術後経過観察中）
- ・再発の心配は少ないが、その後の体調不良が、多岐にわたりにやになる（50代、女性、がん種不明、完治）
- ・進行が遅い。首の傷がみえるので若い女性には苦痛。薬で元気になれる。（60代、女性、がん種不明、術後経過観察中）
- ・乳頭がんに関しては、癌とはいえにくいに予後がいい事。自覚症状がわかりにくい。私は気にならないが、手術の場所が首の下なので、手術跡を気にする人もいる。（40代、女性、乳頭がん、術後経過観察中）
- ・他のがんに比べ進行が遅いと聞いているが、どの程度進行するのか不安がある。（50代、女性、がん種不明、術後経過観察中）
- ・他のがんと比べて、転移の心配は少ないと聞いていたが、やっぱり10年以上たった今でも不安。（40代、女性、乳頭がん、完治）
- ・女性患者が多く、当方のように男性は患者が少ない。定期検査に行っても殆ど女性の方。一年に1回CT検査を行っているが、転移、再発の兆候はない。他の癌ほど深刻には感じない。（60代、男性、乳頭がん、術後経過観察中）
- ・だいたいの場合、死ぬことはない。がんもどきのようなものなので、癌ではなく名前を変えて欲しい。1cm未満のものは、すぐ手術せず経過をみる方針にするべき。（40代、女性、乳頭がん、術後経過観察中）

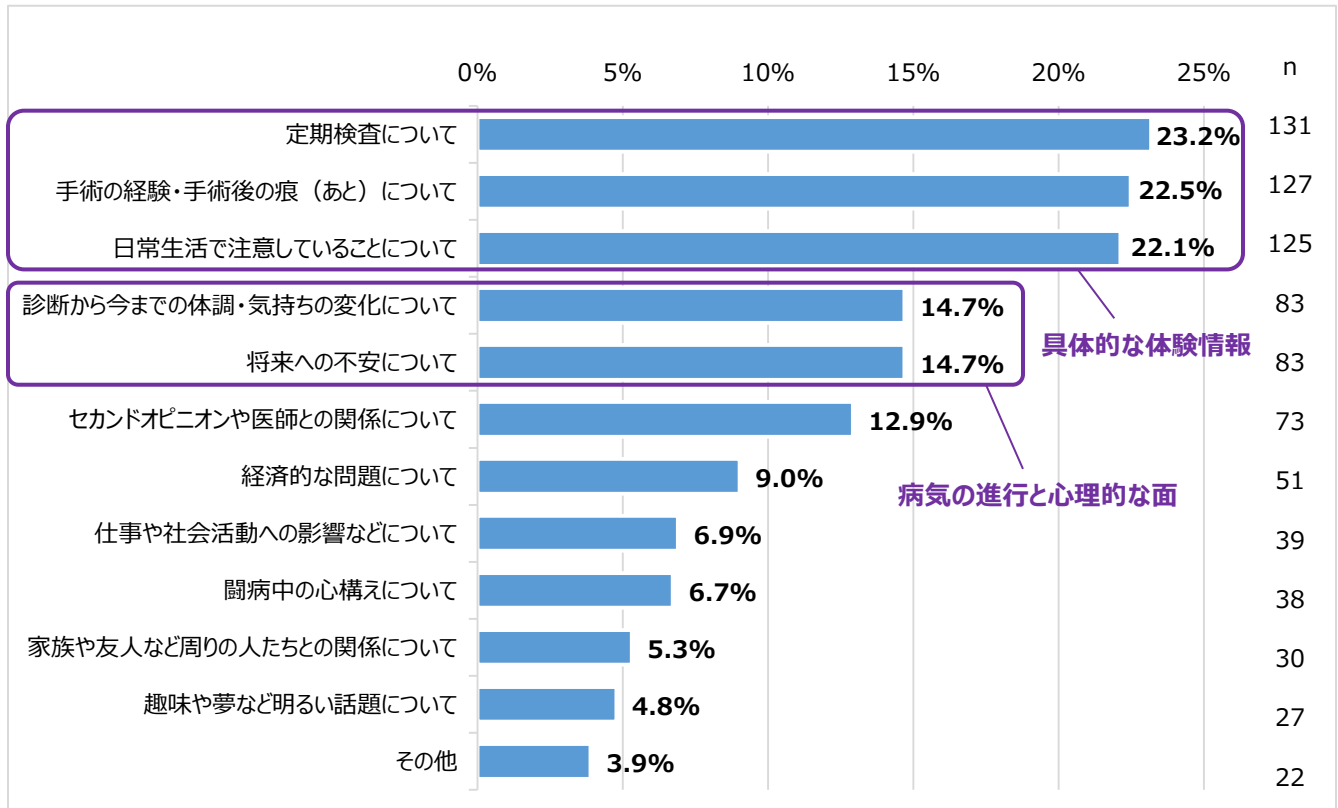
【Q12】現在、あなたの周りに「甲状腺がんに関する情報」が足りていると思いますか。一番近いものを選んでください。



【Q13】現在、あなたの周りに「甲状腺がん患者さんの体験談や生の声」が足りていると思いますか。一番近いものを選んでください。



【Q14】他の患者さんから聞いてみたいと思う、甲状腺がんに関する情報は何ですか。当てはまるものを全て選んでください。
 <複数選択>



▽「その他」のFA回答（抜粋）

- ・抗がん剤や放射線治療を受けた人の体験談を聞いてみたい。（40代、女性、乳頭がん、術後経過観察中）
- ・術後の年数が経ってからの傷口周辺のツッパリ感や違和感がどうい状況なのか。（40代、女性、乳頭がん、術後経過観察中）
- ・自分は手術だけで取り除けたが、抗がん剤を使った人の経験談は聞いてみたい。（40代、女性、乳頭がん、術後経過観察中）
- ・妊娠、更年期について（30代、女性、乳頭がん、術後経過観察中）